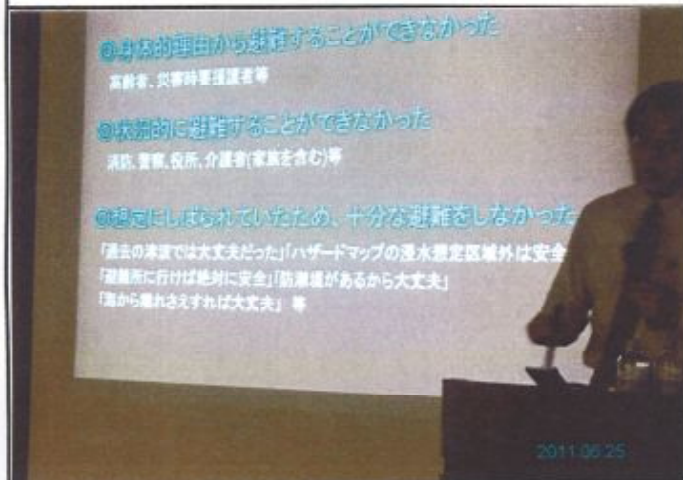


# 環境教育「まず、今できることから」

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市淡川町三丁目5番地7  
 (淡川福祉センター内)  
 TEL0561-51-2878



周到な準備や訓練を生かして避難し、命を守るために人々がいる。取材は連携団

東日本大震災にみる  
 命の分岐点  
 27 自らの命を守ることに主体的に  
 講師：群馬大学大学院  
 工学研究科  
 片岡敏孝教授  
 平成二十三年六月十五日  
 スカイマートあさひ  
 △階ひまわりホール



岩手県釜石市で片岡敏孝教授は八年前釜石で津波の話題を扱うなど防災教育を熱心に行ってきた。  
 保青所鶴住居小釜石、東中、丸は逃げて助けた。片岡敏孝教授  
 ① 想定にとらわれない。  
 ② 状況下で最善を尽くす。  
 ③ 率先避難者になる。  
 つまり、最善を尽くす素早く逃げ率先避難者となる。岡田を巻き込み、想定にとらわれない、子供は速く逃げた。教授は言っていた。二年前の経験から。



▲小学生の果命に中学生の後に追いついた。見えなかった海が、心と目から見た。がくせつ

中学生が先頭を切り走っている。  
 事前からの講演者の人達が参加。取材は連携団

